

平等権と共生社会

名前 _____

_____ 月 _____ 日

現代社会

憲法

政治

経済

国際社会

これから

今日の問い

差別をなくし、だれもが対等に暮らせる社会にするには何が必要だろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 法の下での平等

平等権

① 差別されず等しくあつかわれる権利。

日本国憲法は、すべての人を個人として尊重し、¹ _____ を保障している。² _____ は³ _____ を定め、人種・信条・性別・社会的身分・⁴ _____ によって、政治的・経済的・社会的に差別されないとしている。

③ すべての国民が法の上で平等という原則。

④ 生まれた家柄のこと。

法の下での平等とは、法律の内容や適用が人によってちがってはならないという意味である。ただし、すべてを同じにあつかうことではない。妊娠中の人や障がいのある人への配慮のように、立場のちがいに応じた⁵ _____ な区別は認められる。また、かつて刑法には親を殺す罪を特に重く罰する規定があったが、1973年に最高裁判所が法の下での平等に反すると判断し、のちに削除された。

2 共生社会へ

差別をなくす

⑥ 身分制度の影響が残る、被差別部落の出身などによる差別。

平等を実現するには、原則だけでなく、現実の差別をなくす取り組みが欠かせない。江戸時代の身分制度に由来し、今も結婚や就職などで見られる⁶ _____ に対しては、1922年に⁷ _____ が結成されて解放運動が進められ、2016年には部落差別解消推進法が定められた。北海道などに古くから住む⁸ _____ は、2019年のアイヌ施策推進法で先住民族と明記された。在日韓国・朝鮮人など外国人への差別も課題で、2016年にはヘイトスピーチ解消法が定められた。

⑩ 男女が対等に参画する社会をめざす1999年の法律。

⑪ 障がいを理由とする差別をなくすための法律。

男女平等では、1985年に⁹ _____ が制定され、1999年には¹⁰ _____ が定められた。障がいのある人については、2013年に¹¹ _____ が制定され、必要な配慮を行うことが求められている。段差をなくす¹² _____ や、はじめからだれもが使いやすい形にする¹³ _____ も広がった。さまざまな人が尊重し合う¹⁴ _____ をめざしている。

対象	おもな法律
アイヌ民族	アイヌ施策推進法
男女	男女共同参画社会基本法
障がいのある人	障害者差別解消法

できた / 14